



## 放射性物質の速やかな除染を求める意見書

平成23年3月11日の東日本大震災は、東北から関東に及ぶ広範囲に甚大な被害を及ぼし、本市にも大きな被害をもたらしました。

また、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、放射性物質による人体や農産物等への影響が懸念されるとともに、風評による被害が市民生活への不安を高めております。

このような中、放射性物質の除染については、生命や健康は言うに及ばず、地域経済等への被害、影響を早急に払拭し、安全安心な市民生活の確保に向け速やかな対策が必要であります。

鹿島区地域協議会では、昨年度末から、鹿島区の将来像を描く地域ビジョンの策定に取り組んでおります。行政区長会を通じて各行政区から地域の課題等が提出され、各地区まちづくり委員会での集約を経て、現在、地域協議会でビジョンの検討を行っているところであり、除染の進捗度合は今後の地域ビジョンを策定する上で大きく関わってくる事項であります。

除染を早急に進めるためには仮置き場の設置が必須であり、場所の選定に難航しているところですが、例えば行政区単位であれば理解を得られるケースもあると聞いております。

市では復旧・復興に向けての対策に全力で取り組んでいることとは思いますが、仮置き場の設置箇所数を増やすことや大手企業に発注する現在の手法の柔軟な見直しを含め、速やかな除染の実行を求めるものであります。

平成25年7月22日

南相馬市長 桜井 勝延 様

南相馬市鹿島区地域協議会  
会長 澤田 一夫

